

庄内緑地 管理運営方針

パークマネジメントプラン

◆公園の特性を生かした公園経営の推進◆

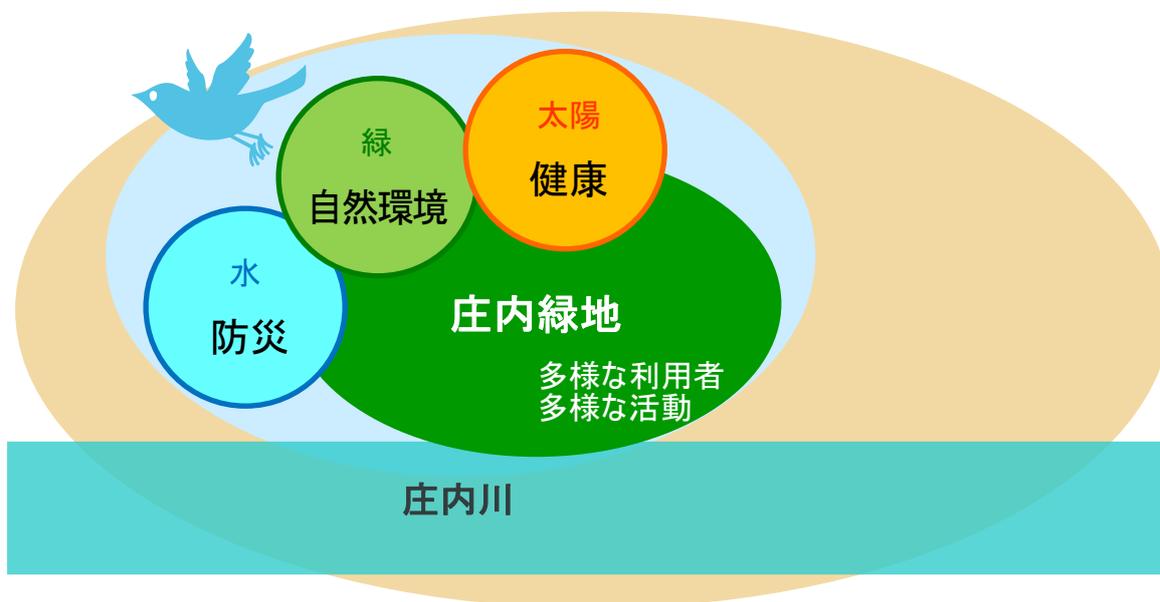
平成 26 年 8 月

名古屋市緑政土木局

庄内緑地のめざす公園像

「水・緑・太陽」の豊かな自然環境の中で、多様な活動の場をはぐくむ緑地

- ・ 庄内川増水時には、遊水地(池)として防災機能を果たす緑地
- ・ 都市緑化の普及・啓発の拠点となる緑地
- ・ 都市における自然のシンボルとして存在し、野鳥のいる環境を大切にする緑地
- ・ 豊かな自然の中で市民に健康づくりの場を提供する緑地
- ・ あらゆる年代の人が憩い、利用できる多様性のある緑地
- ・ 身近なレジャー、交流の場となる緑地



目次

基本事項	1
1.公園の概要	
1-1.庄内緑地の概要	2
(1)概要	2
(2)行政計画上の位置づけおよび指定等	4
1-2.沿革	8
1-3.立地環境	9
(1)自然状況	9
(2)周辺状況	9
1-4.整備時の方針および内容	11
(1)整備当初の基本方針	11
1-5.施設状況	12
(1)施設概要	12
(2)利用時間および料金	15
(3)景観	17
1-6.利用状況	18
(1)利用実績	18
(2)利用者の意見	19
(3)開催行事	21
(4)利用・運営上の課題	22
(5)協働	22
1-7.公園の基本的な性格・役割	24
(1)特長の分析	24
(2)公園経営の現況評価	25
2.めざすべき姿と取り組みの方針	
2-1.公園がめざすべき姿	26
(1)めざす公園像	26
(2)庄内緑地のイメージ	26
2-2.取り組みの方針	27
(1)公園経営の目標設定	27
(2)ゾーン別特性	28
(3)維持管理の方針	28
(4)景観形成の方針	29
(5)運営管理の方針	29
(6)連携・協働の方針	29
(7)改修・再整備の方針	29
(8)災害対応の方針	29

公園管理運営方針 基本事項

公園管理運営方針(パークマネジメントプラン)は、平成 24 年 6 月に公表された「公園経営基本方針」及び、平成 25 年 7 月に公表された「公園経営事業展開プラン」に基づき、今後 10 年程度を計画期間として公園の管理運営の方針等を定めるものです。

この方針では、庄内緑地の性格、役割、立地条件や公園としてのあゆみ、利用者の動向などを踏まえて、めざす公園像を設定し、その実現にあたっての取り組みの方針を定めました。

管理者、利用者、事業者等は、このプランで示す各方針に即して、本公園における管理運営や利活用の促進を、それぞれの立場で行っていくものとします。

なお、本方針については、マネジメントサイクルで行う評価の結果や、周辺の都市基盤整備状況、技術動向、財政見通しなど社会経済情勢の変化等により対応が必要となった場合には、適宜見直しを行っていくものとします。

「名古屋市公園経営」とは…

従来の行政主導による維持管理中心の公園管理から脱却し、利用者志向、規制緩和等による市民・事業者の参画の拡大、多様な資金調達とサービスへの還元、経営改善手法の導入など、公園の利活用の発想により公園の経営資源を最大限に活用していく新たな管理運営の考え方です。

名古屋市においては、市民ニーズを考慮した公園経営を第一とし、公園を「市民の資産」としてとらえ、多くの人々の関わりの中で、市民全体が公園経営の成果を享受できるように「管理する資産」から「経営する資産」へと公園の管理運営のあり方を大きく変革していくものです。



■市民・事業者・行政の Win-Win の関係

1.公園の概要

1-1.庄内緑地の概要

(1)概要

開園年度	昭和 61 年
都市公園法による設置	昭和 61 年 4 月 1 日
公園面積	47.39ha
所在地	名古屋市西区山田町大字上小田井、大字中小田井 地内
公園種別	総合公園
都市計画決定	年度 昭和 15 年 12 月 7 日 番号 緑地第 3 号 面積 94.2ha



庄内緑地平面図

【位置】

名古屋市の北西部で、中心部より約10kmに位置している。



位置図

【交通】 地下鉄鶴舞線 「庄内緑地公園」駅

■本プランの対象エリア

庄内緑地は、都市計画公園区域内では庄内緑地と庄内公園に分かれている。庄内公園は、庄内川左岸の河川敷と橋詰部分、庄内緑地は庄内川右岸の河川敷と遊水地（池）と高盛土部分となっており、本プランでは、主に指定管理区域（庄内川右岸の遊水地（池）エリアと高盛土エリア）を対象としている。



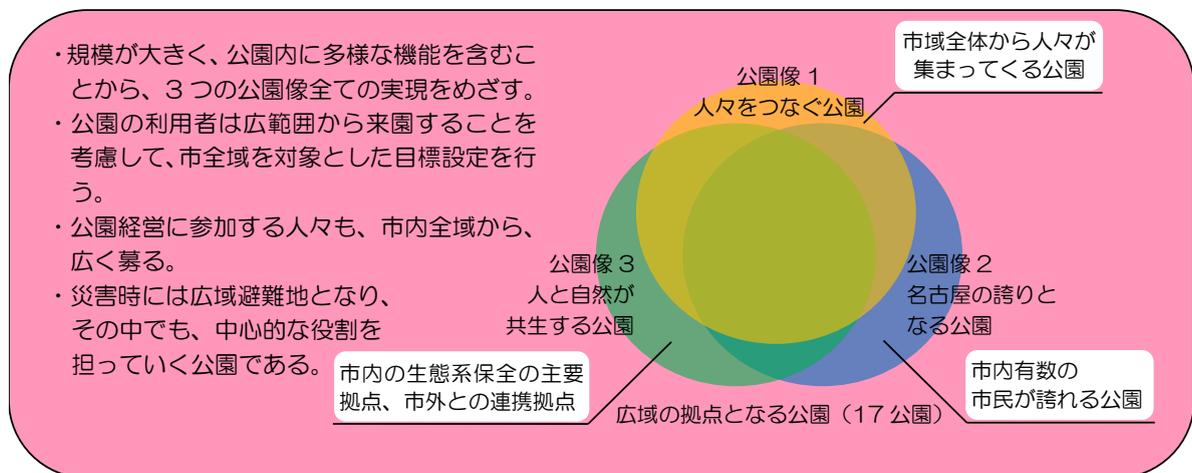
西区公園配置図

(2) 行政計画上の位置づけおよび指定等

■ 広域の拠点となる公園

事業展開プランの中で、公園の面積規模や公園利用者の広がり を考慮して3つに分類された公園体系のうち、「広域の拠点となる公園」として位置づけられている。「広域の拠点となる公園」（市内17公園）とは、規模が大きく、広範囲（市内及び市外）の利用者が見込まれる総合公園、運動公園、特殊公園を指している。

【広域の拠点となる公園】



※名古屋市公園経営事業展開プラン（H25.7）

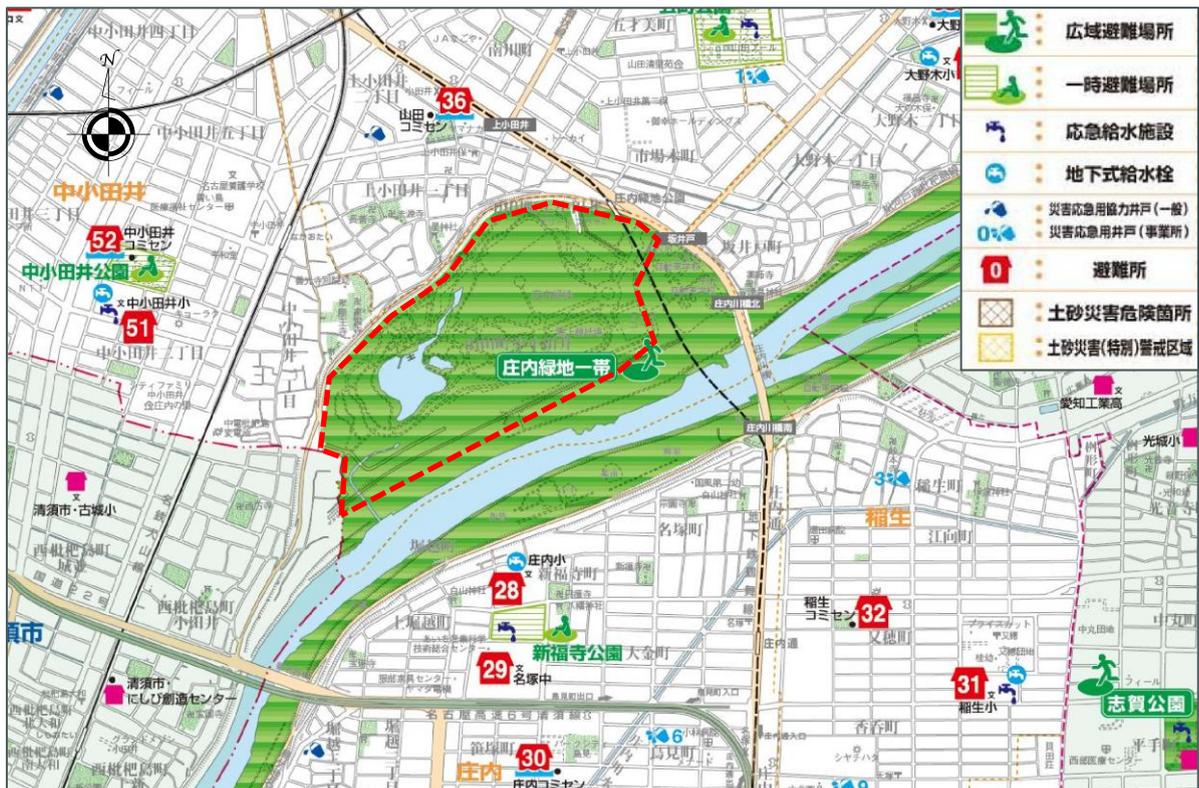
■広域防災拠点・広域避難場所

【広域防災拠点】

庄内緑地は、名古屋市地域防災計画に定められた広域防災拠点の緊急物資集配拠点に指定されている。緊急物資集配拠点とは、大量の調達・救済物資の受け入れ場所で、荷物の積み替えを行い避難所へ供給する場所である。

【広域避難場所】

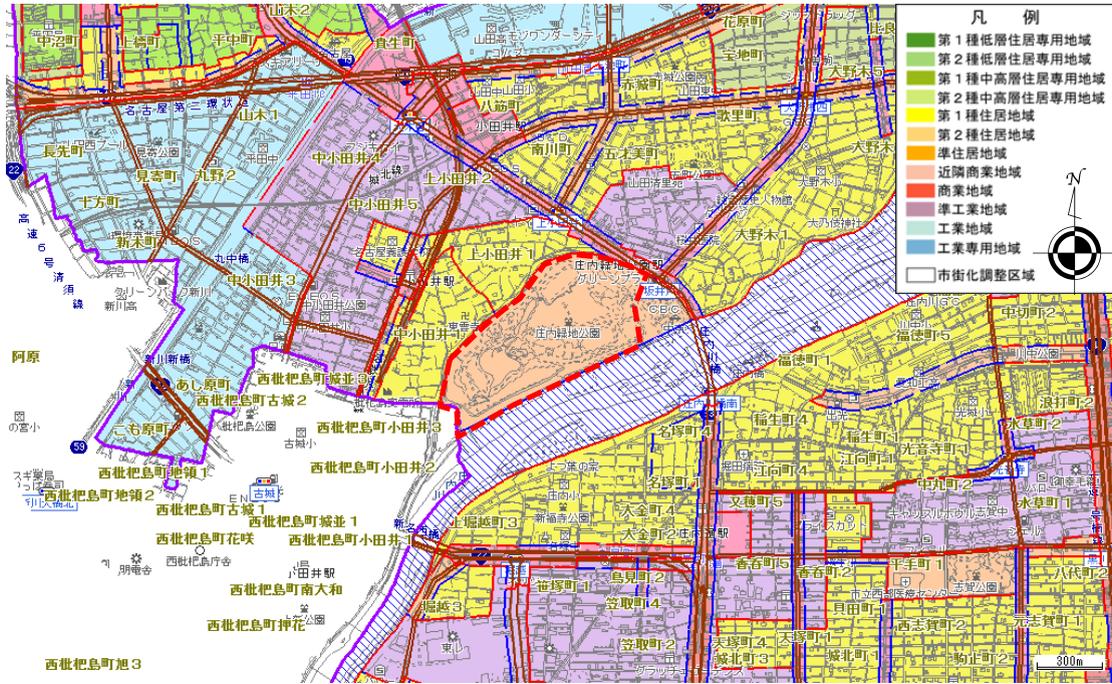
名古屋市地域防災計画の中で、庄内緑地は広域避難場所として指定されている。広域避難場所とは、主として地震火災が延焼拡大した場合に、周辺地域からの避難者を収容し、避難者の生命を保護するための場所である。



避難所マップ

■用途地域

庄内緑地は、第2種住居地域、周囲は第1種住居地域または準工業地域となっている。



用途地域

■河川区域・河川保全区域

庄内緑地の一部は、庄内川の河川区域内に含まれている。



河川区域・河川保全区域

■史跡散策路

西区の史跡散策路の「庄内緑地周辺散策コース」は、庄内緑地の外周を廻るルートとなっている。

⑥ 庄内緑地周辺散策コース 約 8.6 km

⑤ 五所社
いわくらかいどう



岩倉方面の農産物を枇杷島の青物市へ搬送し、その帰りに味噌・油などの生活用品を購入したことから、街道沿いに商家の立ち並ぶ街が形成されました。名古屋市町並み保存地区。

⑦ 皇神社
ほしじんじや



創建不詳。大口實命(大國主命)、天香々背男、牽牛織女を合祀。8月7日の七夕祭は特別由緒のある祭礼で、昔は酒を祭壇にそそいだことから坂庭となり、坂井戸となったといわれます。

かつての庄内川(御用留)であった現在の庄内緑地の周辺を回るコースです。最も多くの寺社をめぐることができる散策路になっています。またこのコースは西枇杷島町地内の一部も通ります。

⑥ 岩倉街道
いわくらかいどう



岩倉方面の農産物を枇杷島の青物市へ搬送し、その帰りに味噌・油などの生活用品を購入したことから、街道沿いに商家の立ち並ぶ街が形成されました。名古屋市町並み保存地区。

① 伊奴神社
いぬじんじや



創建は天武2年(673)。このあたりでは最古の神社。主神は素戔嗚尊、大年神と伊弉諾神の三神。天武天皇の時、このあたりから稲を薦じ、それに併せて神を祀ったことが創始と伝えられています。境内にはシャヤンボ(ツツシ科)の大樹があります。

② 庚申塚(稻生ヶ原古戦場跡)
こうしんづか(いのうがはらこせんじょうあと)



織田信長は、その弟信行側の柴田勝家、林美作などとこの地(現在の名塚町、稻生町一帯)で戦って勝利し、尾張統一に大きく踏み出しました。庚申塚にこの合戦の死者の霊を祀ったといわれていますが、本来、庚申信仰の名残りでもあります。



⑤ 東雲寺
とううんじ



寺伝によれば明応元年(1492)の創建で、開基は織田丹波守平常寛。境内には小田井城主織田常寛の墓、津田貴流槍術の祖津田権之丞信之夫妻の墓、平手政秀の首塚があります。

④ 善光寺別院願王寺
ぜんこうじべついでんがんおうじ



創建は天長6年(829)と伝えられています。本尊は薬師如来と善光寺如来。寺内に名古屋市指定文化財の刺繍涅槃画像の掛け軸があります。

③ 白山神社
はくさんじんじや



創建不詳。祭神は伊弉冉尊。神社正面にはクスノキのご神木があります。

⑤ 五所社
いわくらかいどう



⑦ 皇神社
ほしじんじや



① 伊奴神社
いぬじんじや



⑥ 岩倉街道
いわくらかいどう



② 庚申塚(稻生ヶ原古戦場跡)
こうしんづか(いのうがはらこせんじょうあと)



③ 白山神社
はくさんじんじや



⑤ 東雲寺
とううんじ



④ 善光寺別院願王寺
ぜんこうじべついでんがんおうじ



③ 白山神社
はくさんじんじや



★には、案内看板があります。

13

14

史跡散策路マップ

1-2.沿革

昭和 15 年（1940 年）	防空緑地として都市計画決定される。
昭和 19 年（1944 年）頃まで	愛知県が用地の大半を買収。 戦後、農地解放により愛知県が取得した土地の大部分を失い、耕作地として使用されていた。
昭和 33 年（1958 年）2 月	「第 3 号庄内緑地」として番号変更。
昭和 43 年（1968 年）12 月	計画面積 94.2ha のうち、庄内川小田井遊水地（池）の区域 42.8ha について事業認可を受け、名古屋市で最大規模の都市計画公園事業に着手。
昭和 44 年～47 年	民有地約 37ha を用地買収。
昭和 45 年（1970 年）	庄内緑地基本計画策定。
昭和 48 年（1973 年）	遊水地（池）のため、河川法上の制約を受けることから施設計画や計画貯水量の確保、安全管理等について河川管理者と協議の上、国の第一次都市公園等整備 5 年計画の目玉事業として本格的に着手。
昭和 61 年（1986 年）	地下鉄開通後、建設省（当時）のグリーン・フィットネス・パーク構想を受けて、室内フィットネス広場と緑の相談所を併設した施設（庄内緑地グリーンプラザ）を建設。
平成 17 年度（2005 年）	愛犬家の増加や放し飼い問題などを背景に、ドッグランの設置要望が全国的に高まっており、名古屋市においても試行的にドッグランを庄内緑地に設置。
平成 18 年（2006 年）4 月	1 年間試行的に、ドッグランの供用を開始
平成 18 年（2006 年）	指定管理者制度導入
平成 19 年（2007 年）4 月	試行期間で周辺への影響や利用者の意識調査などを行った上で、ドッグランを本格供用。

1-3.立地環境

(1)自然状況

【野鳥】

80種類の陸鳥が確認され、市内で一番の陸鳥の楽園と言われている。市内はもちろん、東京や大阪からも野鳥愛好家が訪れる。

【遊水地（池）】

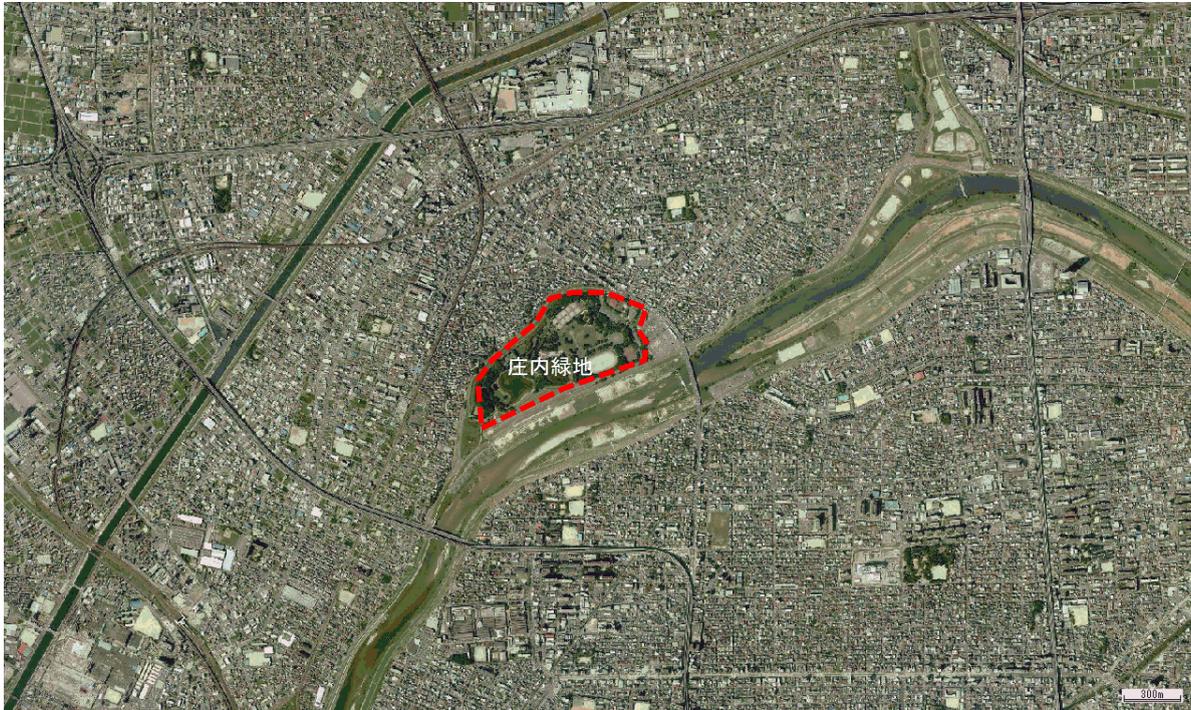
庄内緑地は、庄内川の遊水地（池）となっている。遊水地（池）とは、洪水時に、河川から水を流入させて一時的に貯留し、流量の調節を行う場所。また、同様の目的で使う空き地・原野などをいう。

(2)周辺状況

名古屋市の北西部で、中心部より約10kmに位置している。戦時中の防空緑地、戦後の農耕地を経て、開発されてきたことにより、公園は恵まれたオープンスペースとなっている。名古屋市の公園配置において、東部丘陵地の大公園・大緑地に対し、バランスをとる上でも重要な役割を果たしている。



周辺状況図



航空写真

【庄内川】

庄内川は、岐阜県恵那市の夕立山（標高 727m）を源流とし、名古屋市の北西部を流下して伊勢湾に注ぐ、幹川流路延長 96km、流域面積 1,010km² の一級河川である。名古屋市の中心部を流下する中流域は、河床勾配は 1/500～水平で、緩やかに蛇行し、都市河川でありながら、水際にヨシ群落等の湿生植物が分布し、河口域には藤前干潟等の豊かな自然環境に恵まれた河川である。

庄内川では、市街地における貴重な空間としての水辺景観の維持・形成に努めるとともに、人と河川との豊かなふれあいの確保のため、花火大会、まつり等の伝統的な行事やスポーツ、散策、レガッタ等の水面利用や環境教育の場として適正な河川の利用を推進している。

1-4. 整備時の方針および内容

(1) 整備当初の基本方針

《昭和 46 年 3 月 庄内緑地基本計画(名古屋市)》

「水と緑と太陽を」をテーマとして野趣にあふれた公園の創造

ストレスの集積する都市における都市住民の求める公園の姿として、都市の中に自然のシンボルを再生することをめざす。

幼児から老人にいたる男女とあらゆる階層の人に利用される公園をめざす。そのために必要な多様な機能を確保する。

市民生活によく融合した公園として、また市街地に接近した自然環境として、広範囲な野外レクリエーション要素に対応できる公園をめざす。

1-5.施設状況

(1)施設概要

庄内緑地は、庄内川の小田井遊水地（池）を利用した公園で、昭和43年（1968年）12月の都市計画事業認可以来「水と緑と太陽を」をテーマに、野趣あふれる総合公園として整備を進めてきた。

現在、計画区域44.17haのうち、約40haの整備が終わっている。緑地内には、約3.5haある市内有数の芝生広場を中心に、わんぱく広場、バラ園、ピクニック広場、サイクリングコース、ポート池、大噴水、シンボルツリー（ケヤキ）などのほか、有料公園施設として、テニスコート（全天候・6面）、ゲートボール場（10面）、陸上競技場があり、多目的に利用されている。

公園の核となる施設として、庄内緑地グリーンプラザがあり、緑豊かな環境の中で、自然と触れ合いながら健康運動ができる室内広場がある。



庄内緑地平面図

■庄内緑地

【施設概要】

1) 遊水地（池）エリア

約 3.5ha ある市内有数の芝生広場（33,900 m²）を中心に、ピクニック広場（8,300 m²）、わんぱく広場（4,200 m²）、じゃぶじゃぶ池（3,240 m²）、ボート池（17,000 m²）、水鳥池（8,600 m²）、バラ園（4,920 m²）、花木園（11,900 m²）、野鳥の森（31,150 m²）、ハナシヨウブ園（3,900 m²）、ツバキ園（3,660 m²）、サイクリングコース（1,800mコース、2,300mコース）、大噴水（直径 35m、深さ 15cm）、蒲池（7,900 m²）、時計塔、シンボルツリー（ケヤキ）、ドッグランなどのほか、有料公園施設として、テニスコート、ゲートボール場、陸上競技場がある。

2) 高盛土エリア

庄内緑地グリーンプラザのほか、サイクリングセンターなどがある。

3) 河川敷エリア（本プラン対象外エリア）

多目的広場（6面）を中心に、芝生広場、健康遊具コーナーなどのほか、有料公園施設として、野球（ソフトボール）場（2面）がある。

◇ドッグラン

施設面積は 1,100 m²で、大エリア（800 m²）と小エリア（300 m²）に分かれている。利用時間は 8時から日没までで、現地の運営は、当初から愛犬家の方で組織するボランティア団体が行い、利用指導、巡視、清掃などを行っている。

◇デイキャンプ場

火の使用できる広場 3面、原則自由使用（無料）、炉使用については要予約（3面）

◇サイクリングコース

コース延長：3,400m

■庄内緑地グリーンプラザ

庄内緑地グリーンプラザは、余暇時間の増大、高齢化社会の到来など社会情勢の変動に伴い、健康の維持増進や緑への関心が高まっている状況を踏まえ、庄内緑地の核となる施設として建設された。グリーン・フィットネス・パーク構想に則り、モデル事業として、全国に先駆けて事業化されたもので、緑豊かな環境の中で、自然と触れ合いながら健康運動ができる室内広場、

温室、緑の相談コーナーなどの緑化普及啓発施設といった機能を併せ持つユニークな複合施設である。

【施設概要】

建築面積 3,312.38 m²

延床面積 3,484.39 m²

構造 鉄筋コンクリート造 平屋建（一部2階建）

施設 管理棟、室内広場棟、温室棟、サイクリングセンター

【業務内容】

- ① 緑化普及・啓発に関する事業
 - ・緑化に関する相談及び図書等の収集・閲覧
 - ・緑化に関する講習会及び展示会の開催
 - ・市民との協働事業の実施
 - ・イベントの実施
- ② 健康増進事業
 - ・健康運動及びレクリエーション教室の実施
 - ・自転車の貸し出し業務の実施
- ③ 施設の維持管理等
- ④ 有料公園施設の受付等

(2) 利用時間および料金

【庄内緑地グリーンプラザ】

開館時間：午前9時から午後4時30分（室内広場は午前9時から午後9時）

休館日：毎週月曜日（休日にあたる時は直後の休日でない日）

毎月第3水曜日（休日にあたる時は第4水曜日）、年末年始（12/29～1/3）

室内広場利用

利用区分	使用料	利用時間
個人利用	1人1回大人200円、高齢者(市内在住65歳以上)及び小中学生100円(各回数券11枚綴)	9:00～21:00
専用利用	半面専用 昼間 3,600円(9,000円)	9:00～16:30
	半日 1,800円(4,500円)	9:00～12:30 又は13:00～16:30
	夜間 2,800円(5,500円)	17:00～21:00

※専用利用の料金は、健康運動又はレクリエーションに利用、()はその他の利用の場合

(注) 祝日、第3曜日以外の水・金のみ対象

【その他スポーツ施設】

テニスコート：6面（全天候・更衣室有り）4,900㎡

利用期間	利用時間		使用料
	利用区分	時間帯	
通年	昼間使用	8:30～16:30	1,300円
	半日使用	8:30～12:00 または13:00～16:30	700円
	早朝使用	日の出相当時刻～8:00	600円
	夜間使用	17:00～20:30	700円

※夜間照明のための電気料金は別途必要

陸上競技場：1面（トラック 400m）13,000 m²

利用期間	利用時間		使用料
	利用区分	時間帯	
通年	昼間	8:30～16:30	4,600 円
	半日	8:30～12:00 または 13:00～16:30	3,000 円
	早朝 薄暮	日の出相当時刻～8:00 17:00～日の入相当時刻	1,600 円

ゲートボール場：10面 8,400 m²

利用期間	利用時間		使用料
	利用区分	時間帯	
通年	昼間	8:30～16:30	700 円
	半日	8:30～12:00 または 13:00～16:30	400 円

貸ボート：ペダル式ボート 10 隻

利用期間	利用時間		使用料
	利用区分	時間帯	
4月～11月10日 土曜日・日曜日・祝日	昼間	10:00～17:00 (受付は 16:30 まで)	1回 30分 500 円

レンタサイクル：無料、4月から11月の土曜日・日曜日・祝日

【駐車場】

駐車場名	面積	収容台数	供用期間	供用時間	料金
庄内緑地 駐車場	約 16,200 m ²	大型 駐車可 (マイクロバス程度) 普通 640 台 身障者 3 台	1/4～ 12/28	7:00～21:30	最初の 2 時間は 大型車 1 時間 400 円 普通車 1 時間 180 円 自二・原付 1 時間 100 円 以降 大型車 2 時間 400 円 普通車 2 時間 180 円 自二・原付 2 時間 100 円

(3) 景観

【公園内の優れた景観】

- ・ 大きなケヤキ（シンボルツリー）のある芝生広場
- ・ バラ（春・秋）、ハナショウブ、ラクウショウの紅葉
- ・ 80 種に及ぶ野鳥
- ・ 大噴水

【公園内から見える周辺の優れた景観】

- ・ 川沿いから一望できる名古屋駅のビル群、庄内川の赤とんぼ橋、御嶽山、養老・鈴鹿山脈などの景観

◇修景施設

- ・ 彫刻：「朱包芽」（H. 59. 1）、「バレリーナ」（H1. 3）、「連」（H1. 8）
- ・ 水景施設：大噴水、噴水（ボート池）、壁泉（グリーンプラザ）、じゃぶじゃぶ池

◇花の名所

・ サクラ	開花時期 3 月下旬～4 月上旬	約	1,000 本
・ バラ	開花時期 5 月～10 月	約	2,500 本
・ ハナショウブ	開花時期 6 月上旬～中旬	約	18,000 株
・ ツバキ	開花時期 3 月上旬～4 月上旬	約	300 本

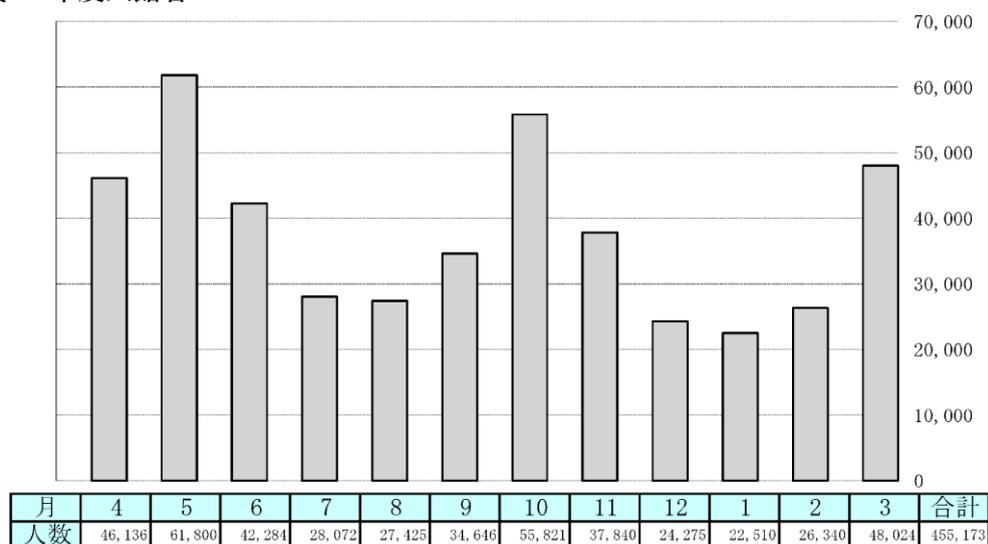
1-6.利用状況

(1)利用実績 (グリーンプラザ)

①最近の入館者数 (平成 24 年度実績)

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24
人数	390,200	399,115	429,254	429,046	383,686	455,173

②平成 24 年度入館者



③緑の教室・展示会・健康運動教室等 (平成 24 年度)

緑の教室等	67 回	1,140 人	展示会等	36 回	延 141 日
健康運動教室	103 回	4,486 人	イベント	5 回	20 日

④平成 24 年度緑化相談者数 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談者数													
面談(人)	34	60	80	63	42	41	32	46	29	45	45	65	582
電話(人)	10	8	18	13	11	6	8	8	10	8	8	6	114
計	44	68	98	76	53	47	40	54	39	53	53	71	696
相談件数(件)	55	102	198	165	105	86	50	108	92	102	91	145	1,299

⑤平成 24 年度室内広場利用状況 (人)

利用者数	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
教室利用	241	521	318	446	131	418	567
専用利用	536	566	642	449	487	558	676
個人利用	2,530	2,390	2,339	2,231	2,338	2,352	2,402
計	3,307	3,477	3,299	3,126	2,956	3,328	3,645
利用者数	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年度累計	
教室利用	635	499	209	272	229	4,486	
専用利用	567	371	505	569	499	6,425	
個人利用	2,091	1,867	1,986	2,107	2,961	27,594	
計	3,293	2,737	2,700	2,948	3,689	38,505	

(2)利用者の意見

■利用者アンケート

(アンケート調査は、各種イベント、緑の教室、運動教室、エアロビクス等 58 回実施)

	名 称	アンケート実施日	満足度回答人数	摘 要
1	春のバラまつり	5月19日(土)	95人	(A)
2	花しょうぶまつり	6月17日(日)	96人	(A)
3	秋のバラまつり	11月10日(土)~11日(日)	99人	(A)
4	コスモスまつり	10月13日(土)~21日(日)	103人	(A)
5	緑の教室	平成24年度 通年	647人	(B)
6	運動教室	平成24年度 通年	137人	(C)
7	エアロビクス(託児付き)	平成24年度 通年	12人	(C)
8	エアロビクス	平成24年度 通年	167人	(C)
			計 1,356人	

(A) イベント集計(春のバラまつり、花しょうぶまつり、秋のバラまつり、コスモスまつり)

(B) 緑の教室集計(緑の講習、草木染教室、フラワー教室ほか 45 回実施)

(C) 運動教室集計(太極拳初級、楽しくやろう健康運動、ソフトエアロビクス 13 回実施)



- ・満足度：すべてのアンケートで約 90%の人が満足している。
- ・男女比率：各種イベント時では、男性：女性は約 30：70 である。緑の教室では男性：女性は約 60：40 となっている。運動教室では特に女性が 76%と多い。(エアロビクスは対象が女性のみ)
- ・年齢構成：各年齢層が来場している。但し、緑の教室、運動教室等では 60 歳以上が最も多い。
- ・住まい：約 80%以上が名古屋市内から来園している。特に地元である西区の人が最も多い。
- ・来場頻度：月に数回、年に数回の人が 60~70%であった。
- ・情報源：イベントアンケートでは広報なごやが最も多く、次いで広告・チラシとなっている。緑の教室、運動教室等では以前に受講した、知人から紹介が多い結果になった。

庄内緑地のイベント・教室参加者は…

近隣の人

イベント：年齢層が幅広く、女性が多い、広報なごやで知る人が多い

教室：60 歳以上(緑の教室は男性、運動教室は女性)が多く、口コミで知る人が多い

公園に関する意見・要望は、年2回開催される施設運営懇談会で収集している。施設運営懇談会における主な意見は以下のとおりである。

- ・ 土日だけでも売店がほしい。
- ・ 指定外の場所でのバーベキューを厳しく禁止してほしい。
- ・ 芝生広場にベンチがほしい。

平成22年度第5回ネット・モニターアンケート“これからの公園のあり方について（特に利用・活用面から）”によると、庄内緑地は、「名古屋市内の公園で一番好きな公園」の4位に選ばれている。選ばれた主な理由は次のとおりである。

- ▶ 多様な使い方ができる。
 - ・ いろいろな施設がそろっていて家族で行きやすい。
 - ・ 様々な世代が利用しやすい。
 - ・ バーベキューやキャッチボールなど多目的な遊びができる。
 - ・ 広くて、走ったり自転車に乗ったりする場所が多い。
 - ・ スポーツができ、四季を感じて安らぐこともできる。
 - ・ 遊具が充実し、芝生が広く、自転車やランナーは外周を走り接触しないので安全。
- ▶ 自然や景観などの環境がよい。
 - ・ きれいで広くて緑が多い。
 - ・ 開放感がある、芝生の大広場がある。
 - ・ 季節感のある木が多く、広々していて楽しめる。
 - ・ 自然が多くて野鳥も多く、ゆったり散歩できる。
- ▶ ウォーキングやマラソン、サイクリングができる
 - ・ いろいろなウォーキングコースを自分で作って季節を感じながら歩ける。
 - ・ 1周2.3kmのジョギングコースが最適である。
 - ・ 自転車を無料で借りられる。
- ▶ その他
 - ・ 子どもが小さい頃から行って思い出が多い。
 - ・ 身近である。

市民の庄内緑地が好きな理由のキーワードは…

自然環境 多様な人が多目的に使える 健康づくり

(3)開催行事

入口広場、室内広場を中心に、多目的広場までの園路を含む広い範囲がにぎわいの場として利用されている。(以下、平成24年度実績)

◇バラまつり：5月19日(土)～5月20日(日)

◇ハナショウブまつり：6月16日(土)～6月17日(日)

◇コスモスまつり：10月13日(土)～10月21日(日)

◇秋バラまつり：11月10日(土)～11月11日(日)

◇ナノハナ・サクラまつり：3月23日(土)～4月7日(日)

◇その他

- ・展示会 36回
- ・緑の講習会 27回 … 受講者合計 583人
- ・草木染教室 1回 … 受講者合計 1人
- ・フラワー教室 3回 … 受講者合計 71人
- ・ボタニカルアート(植物画)教室 6回×2 … 受講者合計 146人
- ・現代押し花アート展 2回 … 受講者合計 28人
- ・写真教室「庄内緑地の花と緑の風景」 6回 … 受講者合計 126人
- ・花と野菜の水彩教室 4回 … 受講者合計 40人
- ・親子自然と遊ぼう会 4回 … 受講者合計 33人
- ・親子教室 2回 … 受講者合計 66人
- ・工作教室 5回 … 受講者合計 27人
- ・名古屋市みどりの相談所による連携講座 1回 … 受講者合計 10人

イベント時に限り飲食も提供している。

【平成25年度に新たに実施された催事例】

- ・コスプレイベント 7月14日 室内広場を利用
- ・アドベンチャーマラソン 10月27日 ランナー3000人+応援団の利用

(4)利用・運営上の課題

- ・ 行為許可に関する申請の手続きの窓口は基本的に庄内緑地グリーンプラザとなっているが、特殊なものなどは、土木事務所に直接問い合わせが必要となり、利用者にとって分かりづらい。
- ・ 施設の老朽化が課題になっている。
- ・ 陸上競技場は、平日の利用のさらなる促進が課題となっている。
- ・ ゲートボール場は、競技用の仕様になっていて、他のスポーツで利用する場合に使い勝手の悪いことから、利用率が低い。

(5)協働

■ボランティア

定期的に活動しているボランティア団体と連携し、園内維持管理の向上を図っている。

【活動内容】

1) 庄内緑地を美しくする会（花壇管理ボランティア）

広大なフィールドを利用した四季折々の花づくりと花壇管理の中で、花の植栽、除草、水やり等比較的軽易な作業を協働で行っている。花壇の植栽・ワイルドフラワーに関しては、年5回ほど職員とボランティアとの打合せ会を開催し、植栽・種まき等の年間スケジュール、花壇に植え付ける花の選定、デザインなどを検討し決定している。毎週水曜日に活動。

2) 園内ガイドボランティア

イベント時グリーンプラザ入口において、来園者に対しパンフレットの配布や園内の案内図をもとに各種催事の案内等を行う。併せて「庄内緑地魅力発見ツアー」を開催し、ガイドボランティアが園内の見どころを案内し説明を行う。

園内ガイドは、庄内緑地の歴史等も含め、説明できる人材が少なく、要望のあったときのみの活動となっている。（園内ガイドのメンバーは、庄内緑地を美しくする会を兼ねている。）

H24年度実績：イベント時の園内ガイド延べ14日

3) 庄内緑地ドッグランボランティアの会

園内に設置されたドッグランの管理運営活動を協働で行っている。また犬を連れた園内利用者のマナー向上に関する活動も併せて行い、動物愛護センター・保健所と連携して「犬のしつけ教室」を開催している。

H24年度実績：活動157日、利用人数36,860人(29,105匹)、躰教室1回

4) ネイチャーフィーリング自然観察会

身体の不自由な人や高齢者から子どもも、だれでも参加できるネイチャーフィーリングを企画、実施している。

※ 上記のボランティア団体のほか、不定期の清掃活動に「鯨城会」「早朝ラジオ体操」他、企業などが活動している。

【ボランティアの意見】

庄内緑地を美しくする会、園内ガイドボランティア、庄内緑地ドッグランボランティアの会、ネイチャーフィーリング自然観察会の4団体にアンケート調査を行った結果は、以下のとおりである。

1) 庄内緑地の魅力について

- ・ 広く、自然が豊か。(樹木の種類が多い、水辺がある、鳥も多い、美しい風景)
- ・ 多様な散策路がある。
- ・ 世代を問わず活用できる。(スポーツ施設がある、バーベキューができる、無料のドッグランがある。)
- ・ 様々な行事ができる。
- ・ 清掃、整備が行き届いている。
- ・ 交通アクセスがよい。(駐車場がある。)

2) 望まれる公園像について

- ・ 広々とした開放感のある公園。
- ・ 季節が感じられる美しい公園。(植物等を学べる。)
- ・ 皆に愛される市民の憩いの場。
- ・ 子ども、老人、障害者も安全に自然とふれあえる公園。
- ・ 名古屋市民のマラソンの基地、文化一般の発表の場などに活用される公園。

■企業等との協働

- ・ 名古屋市交通局と連携し、ウォーキング大会を実施し、花苗を提供している。
- ・ 地域の企業がCSRとして清掃ボランティアを行っている。

1-7.公園の基本的な性格・役割

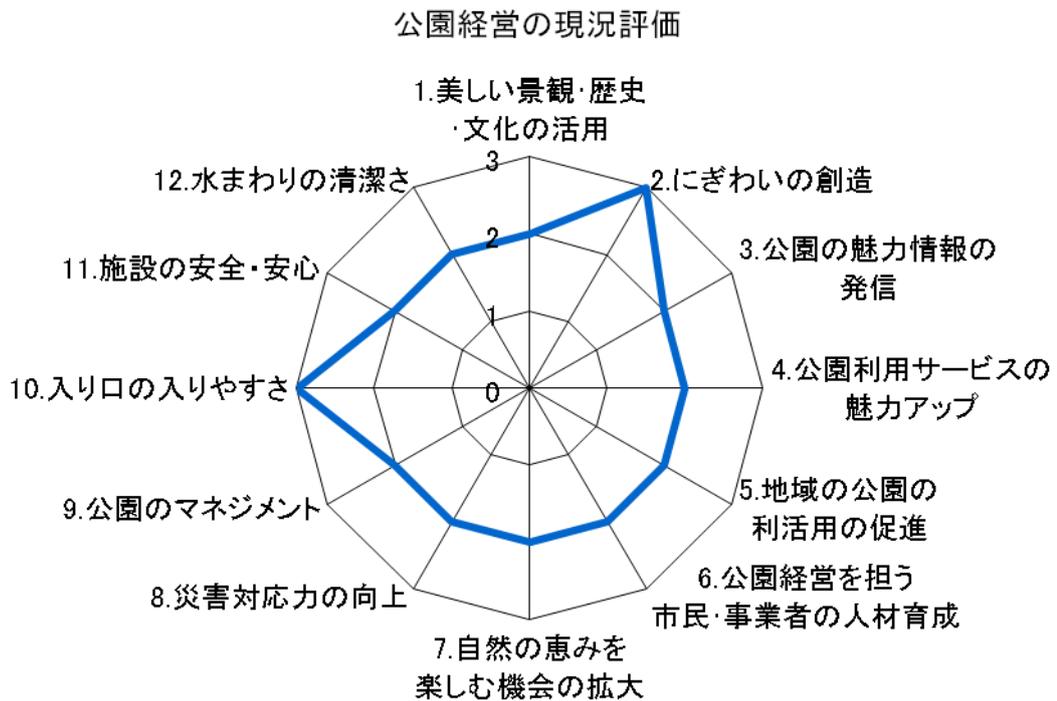
(1)特長の分析

分析ポイント

歴史・文化	モニュメント、彫刻等の文化施設が複数ある。
景観	バラ、ハナショウブ等の季節の花、ケヤキのある芝生広場、水景施設等の園内の景観と、庄内川の赤とんぼ橋、御嶽山、養老・鈴鹿山脈等の園内からの眺めが良い。
にぎわい	入口広場、室内広場等のにぎわいの場がイベント等で活用されている。
地域の庭	芝生広場を中心としたくつろげるスペースがあり、バラ、ハナショウブ、コスモス等の鑑賞もできる地域の庭としての役割を満たしている。
自然の恵み	庄内川に隣接し、遊水地（池）の機能を有する。 庄内川や野鳥などの自然に囲まれている。
遊具	わんぱく広場に遊具が複数あり、利用されている。
スポーツ施設	市民や企業等に、スポーツ施設が利用されている。
災害対応力	広域防災拠点（緊急物資集配拠点）、広域避難場所となっている。
活動団体	複数のボランティア団体が積極的に活動している。
民間活力導入状況	自販機の設置

(2)公園経営の現況評価

公園経営の現況評価	
評価基準	
評価0	—
評価1	部分的に不足している
評価2	標準的なレベルに達している
評価3	積極的に取り組んでいる、高い評価を得ている



- ・ 防災機能、都市緑化の普及・啓発、健康増進の3つの大きな役割を担っている。
- ・ 遊水地（池）エリア、高盛土エリアが指定管理区域となっている。
- ・ 大きなケヤキのある芝生広場、大噴水、バラやハナショウブ等の花の名所、ラクウショウの紅葉等、ビューポイントが多数あり、80種に及ぶ野鳥が見られる場所としても知られている。
- ・ ボランティア等の市民活動が積極的に行われている。
- ・ 市民に非常に愛されている公園である。（平成22年度ネットモニターアンケートで「市民の好きな公園第4位」）

2.めざすべき姿と取り組みの方針

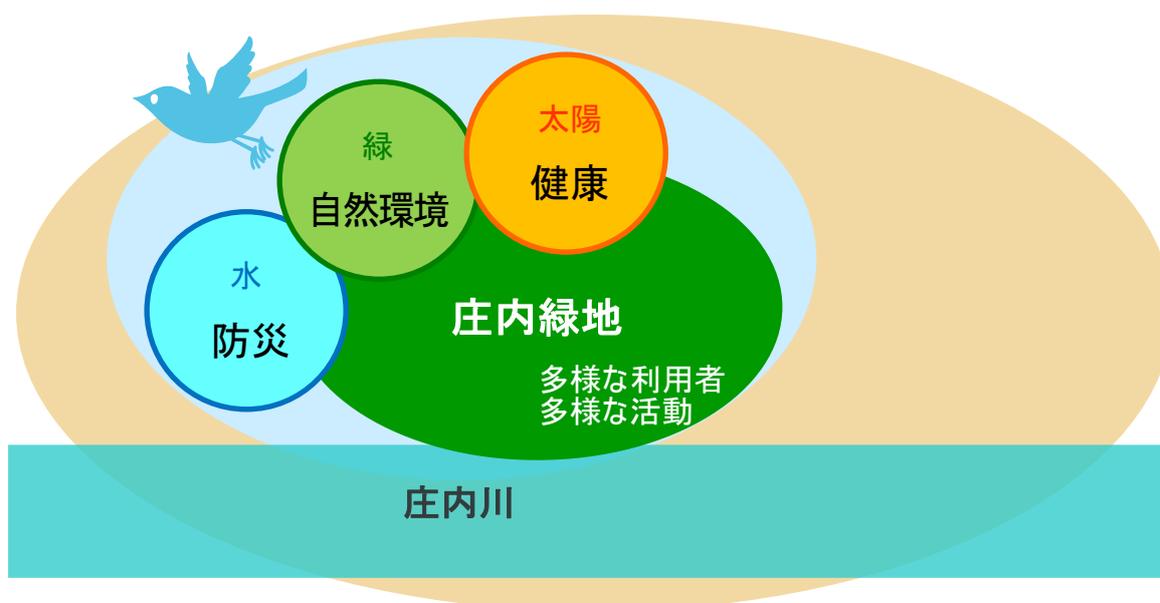
2-1.公園がめざすべき姿

(1)めざす公園像

「水・緑・太陽」の豊かな自然環境の中で、多様な活動の場をはぐくむ緑地

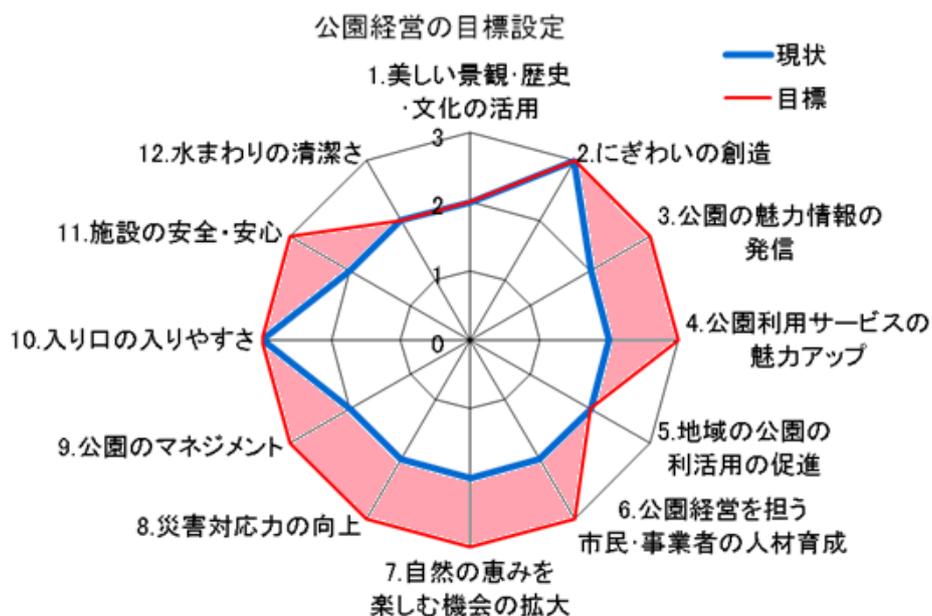
- ・ 庄内川増水時には、遊水地(池)として防災機能を果たす緑地
- ・ 都市緑化の普及・啓発の拠点となる緑地
- ・ 都市における自然のシンボルとして存在し、野鳥のいる環境を大切にする緑地
- ・ 豊かな自然の中で市民に健康づくりの場を提供する緑地
- ・ あらゆる年代の人が憩い、利用できる多様性のある緑地
- ・ 身近なレジャー、交流の場となる緑地

(2)庄内緑地のイメージ



2-2. 取り組みの方針

(1) 公園経営の目標設定



めざす公園像に取り組むための方針に沿って公園経営の目標を設定し、今後10年間に重点的に取り組む項目は、下表のとおりである。

めざす公園像のための取り組み項目	景観形成		運営管理				連携協働			維持管理		
	1	10	2	3	7	9	4	5	6	8	11	12
めざす公園像のための取り組み方針												
庄内川増水時には、遊水地(池)として防災機能を果たす緑地										○		
都市緑化の普及・啓発の拠点となる緑地					○							
都市における自然のシンボルとして存在し、野鳥のいる環境を大切にする緑地					○							
豊かな自然の中で市民に健康づくりの場を提供する緑地					○							
あらゆる年代の人が憩い、利用できる多様性のある緑地				○			○				○	
身近なレジャー、交流の場となる緑地							○		○			

また、指定管理制度のメリットを活かして、公園経営的視点に立った公園の管理を行うとともに、利用者や近隣住民の声を大切にしながら、安全・安心や環境への取組み等にも考慮して、効果的・効率的な管理運営を行う。

- 指定管理者との関係

指定管理者が管理している公園については、以下のことを踏まえつつ、指定管理者の創意工夫による管理を行う。

(2)ゾーン別特性

【遊水地（池）エリア】

芝生広場やピクニック広場、わんぱく広場等は身近なレジャーができる場所として、幼稚園や小学校の遠足の場所として、5大まつりのほか年間を通じて各種イベントを開催されるにぎわいの場として、自然と人とがふれあい、人と人が集えるエリアとする。

【高盛土エリア】

室内広場での運動教室や有料運動施設における運動、サイクリングロードの利用等を通して、市民が手軽にスポーツを楽しみ、市民の健康増進に寄与できる場とする。

グリーンプラザの館内では、様々な展示会や講習会等で市民同士が交流を深めることができる場を創出する。

(3)維持管理の方針

植物の管理については、各植物の特性に配慮したうえで、適正に持続・育成するよう必要な管理を行う。特にバラ、ハナショウブについては、花の名所として毎年楽しんでいただけるような栽培管理に努める。

施設や設備は、利用者が快適かつ安全に利用できるよう、各種施設の位置、機能、特性を十分に把握したうえで、常に清潔に保ち、機能を正常に保持するため、各施設に応じた年間管理計画を立て、点検・管理を行う。

周辺地域との連携、市民・企業等とのパートナーシップを推進し、参加型で効率的な維持管理を目指す。

(4) 景観形成の方針

市民からの評価の高い広々とした景観を大切にし、バラ園、ハナショウブ園の充実を図る。

(5) 運営管理の方針

施設利用者の満足度を高め、多様なニーズに応えるため、施設利用者の声を聴取し、反映できるものは積極的に取り入れる。

【広報】

新たな広報ツールの開発、パブリシティの活用、鉄道業者等との連携を進め、積極的に最新情報を発信する。

(6) 連携・協働の方針

市民団体や企業との連携を進め、地域に根ざした公園を目指した管理運営を行う。現在、庄内緑地で活動しているボランティア団体のほか、NPO、市民等との協働事業を実施する。

ボランティア活動の継続・充実を図り、公園をボランティアメンバーや市民のコミュニティの場（地域のオアシス）として活用する。

(7) 改修・再整備の方針

公園の安全・魅力向上のために必要な場合は、改修を行う。

(8) 災害対応の方針

「名古屋市地域防災計画」「震災に強いまちづくり方針～名古屋市防災都市づくり計画～」に基づき、広域防災拠点、広域避難場所としての機能を確保し、向上させる。

火災、地震、風水害等の防災・災害対応マニュアルをあらかじめ作成し、発災時には、利用者の安全確保・避難誘導に努める。